

7. 災害調査

| 災害調査名 | 調査期間 | 調査内容 | 担当者 |
|--|---------------------------------------|---|------------------------------|
| 平成 19 年（2007 年）三重県中部を震源とする地震に対する対応（天井被害調査） | 平成 19 年 4 月 16 日～17 日 | 平成 19 年 4 月 15 日の午後 12 時 19 分頃に三重県中部の深さ 16km で M5.4 の地震が発生した。この地震によって、関ドライブイン本館の団体食堂及び座敷、鈴鹿スポーツガーデン温水プールの天井材が脱落した。国土技術政策総合研究所の調査担当者と共に、両施設について被害調査を行った。 | 脇山善夫 |
| 平成 19 年新潟県中越沖地震被害調査 | 平成 19 年 7 月 17 日～18 日 | 平成 19 年 7 月 16 日午前 10 時 13 分頃に新潟県上中越沖で発生したマグニチュード 6.8（暫定値）の地震（平成 19 年(2007 年)新潟県中越沖地震）に関して、建築物、工作物等の被害概況の把握を行うとともに、今後の追加調査の必要性の検討に資する基礎資料の収集を目的として、初動調査を実施した。 | 田尻清太郎 |
| | 平成 19 年 7 月 18 日～20 日 | 新潟県中越沖地震によって大きな地震動を観測した柏崎市内の震度観測地点の周辺状況を調査し、加えて余震観測のために柏崎市役所及び柏崎市西山事務所の建物内に強震計を設置した。 | 小山 信 鹿嶋俊英 |
| | 平成 19 年 7 月 20 日～23 日 | 戸建て木造住宅を中心として、柏崎市及び刈羽村における住宅の構法と被害の特徴に関する詳細調査を実施した。 | 河合直人 小松弘昭 中島史郎 山口修由 |
| | 平成 19 年 7 月 23 日～24 日 | 塔状工作物の被害を中心に、鉄筋コンクリート造建築物の被害調査を実施した。 | 福山 洋 |
| | 平成 19 年 7 月 24 日～26 日 (非構造部材調査) | 非構造部材の被害状況を把握するために、長岡市、柏崎市、上越市、刈羽村の非構造部材被害情報のあった建物について被害調査を行った。 | 岩田善裕 脇山善夫 |
| | 平成 19 年 8 月 2 日～7 日 | 平成 19 年新潟県中越沖地震による建築物の基礎、宅地地盤、擁壁等の被害の特徴を把握するとともに原因究明の基礎資料を得る目的で、住宅や擁壁等に関する現地調査のほか、表面波探査やスウェーデン式サウンディング試験による地盤調査、土質試料採取などを実施した。 | 飯場正紀 平出 務 田村昌仁 |
| | 平成 19 年 8 月 9 日～10 日 | 柏崎市役所及び柏崎市民会館の被害状況を確認し、余震観測のための強震計を撤収した。 | 小山 信 鹿嶋俊英 |
| ペルー太平洋岸地震災害復興支援ニーズアセスメント調査 | 平成 19 年 9 月 13 日～23 日 | 平成 19 年 8 月 15 日（現地時間）ペルー国太平洋岸イカ州沿岸部において発生した地震（M=8.0 : USGS）により、同州及びリマ南部を中心に 519 名の犠牲者、1,800 人余りの負傷者、52,000 棟以上の倒壊家屋（9 月 19 日現在 National Institute of Civil Defense 情報）が発生した。 これに対し、今回の災害による被害状況を正確に把握し、震災後の復旧・復興段階および次の震災への備えの段階におけるニーズを確認し、わが国が実施中の支援、先方政府の動向や他ドナーの支援状況を確認した上で、必要な支援を検討する必要があった。このため、復旧・復興支援ニーズアセスメント調査団が派遣されることとなり、その一人として参加要請があったことから、建築、住宅分野の専門家として参加を行った。 調査においては、現地調査の他、地方政府関係者、中央政府関係者、関係機関、現地研究機関などのヒアリングを行い、住宅、建築についての被害の実情把握と復興支援の方向についての提案を行った。 | 榎府龍雄 |
| 豊田スタジアムスポーツプラザ屋内プール天井板脱落事故調査 | 平成 20 年 1 月 7 日 | 平成 20 年 1 月 6 日の午前 8 時 55 分頃、豊田スタジアムスポーツプラザ屋内プールの天井板が脱落した。現地に赴いて被害状況の把握、関連情報の収集等を行った。 | 脇山善夫 |